

【礼拝賛美】御手の中で

- 1 御手の中で
すべては変わる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ
あなたの御手の中で

2

御手の中で
すべては変わる感謝に
わがゆく道に あらわしたまえ
あなたの御手のわざを

【今日の配布物】シオンだより(教団)

【霊修会申し込みについて】

〔開催〕 8月23日火〜24日水

- ・詳細は申込書をご覧ください。
- 5/21にアピールがあります。

【お祈りください】

*荻野牧師 本日は、東京育成園の夕礼拝で月1回の定例の奉仕です。

また、9日(火)はワールド・ビジョン・ジャパン(WVJ)でロングゲイボーションを担当します。協力教会の牧師ということで依頼されました。WVJは1987年創設。当時の岸田馨牧師が立ち上げに関わり、それ以来の繋がりです。

【協力ください】

*ボランティアグループによる無料食品配布の実施に伴う食品の募集

募集期間 5月28日まで
受付方法 教会入口の回収箱にて
募集品目 お菓子とお米

今回は6月3日(土)に配布をおこないます。すでに、大量の寄付があったので右記の品目を特に募集しています。それ以外のものも受け付けます。次回以降の配布に用います。

ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。

マタイの福音書 28章 19、20節

教会暦では今は復活節ということで、イ

ースター以後は、礼拝では復活されたイエス様について記された箇所を取り扱ってききました。本日開いたところは、イエス様が天にお帰りになる前に弟子たちに語ったことばで「大宣教命令」と呼ばれる箇所です。イエス様は福音を宣べ伝えることを弟子たちに託しました。そしてそのバトンは長い年月を経て、いま私たちが受け継いでいるこ

とを自覚したいと思えます。

注目したいのは「バプテスマを授け」ることが求められていることです。

バプテスマ、つまり「洗礼」は、聖餐と並ぶ教会の聖礼典です。イエス・キリストを救い主と受け入れた人は、教会から洗礼を授けられることでその教会に加えられます。教会はキリストの体です。人は教会に加わることによって、イエス・キリストを信じる

信仰によって得た神のいのち・永遠のいのちに生き続けます。そして、三位一体の神が示す愛の交わりを、この世で教会の兄弟姉妹との関わりの中に体験するのです。

ですから、私たちが福音を宣べ伝えるときは、教会を建てることの一つです。

しかし、現実を見ると、イエス様を受け入れた人が教会に定着することの難しさもあります。そもそも今の時代は、福音を語ってもなかなか届かない難しさもあります。そのような現実を前に、私たちは心を痛め頭を悩ませます。けれども、私たちが信じる主は、ご自身から疑う者にも近づき、いつも共にいると約束くださる御方です。そして、すべての権威を持ち私たちを支えてくださいます。地道に福音を伝えましょう。(泰)

5月7日 聖日礼拝	第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
第2礼拝 11時 戸梶姉 高橋美姉	
招詞 詞	マタイの福音書 11章 28節
会衆賛美	聖歌 394
会衆賛美	御手の中で
主の祈り	
交読 詩篇	119篇 9～16節
礼拝祈禱	
使徒信条	
聖書朗読	マタイの福音書 28章 16～20節
説教	福音を伝える 荻野泰弘牧師
聖餐式 (第2礼拝)	
会衆賛美	聖歌 158
献金	
頌栄	聖歌 376
祝祷	
報告	
後奏 感謝祈禱	
第1礼拝は、礼拝後に聖餐式	



【いよいよ次週！】
『母の日記念企画』
 5月14日(日)
 11時～ 母の日記念礼拝
 14時～ ベアンテ・ポーマン
 ・チェロコンサート
 *講師・音楽
 ベアンテ・ポーマン師(チェロ)
 ルリ子・ポーマン師(ピアノ)
 ※第2礼拝説教
 ベアンテ・ポーマン師
 *聖書箇所
 ヨブ記 16章 19～21節
 テモテへの手紙 第一 2章 5節
 *説教題
 「イエス様は私たちの弁護者」
 ※オンライン配信について
 ・9時より第1礼拝を通常通りに
 オンライン配信します。
 説教は荻野牧師。
 ・「母の日記念礼拝」と「ベアンテ・
 ポーマン・チェロコンサート」のオ
 ンライン配信はありません

【招詞(主の招きのことば)】
 マタイの福音書 11章 28節
 「すべて疲れた人、重荷を負ってい
 る人はわたしのもとに来なさい。
 わたしがあなたがたを休ませてあげ
 ます。」アーメン

【本日の予定】
 ■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後
 ■小学科礼拝 3階 11時
 ■ホザナ礼拝 6階 11時
 ■バイブルカフェ 談話室
 12時15分～45分

【創立者 岸田愛治牧師 召天記念日(召天47年)】
 5月13日はシオン・キリスト教会
 創立者 岸田愛治先生の召天記念日
 です(1976年召天)。愛治先生召
 天後に発行した「創立50周年記念
 誌『新しい出発』」に掲載した「天国
 からの説教」の一部を紹介します。

《天国からの説教》
 五月十三日 四十年の伝道また伝
 道の生涯を走り終え召天した岸田愛
 治名誉牧師は、「告別式」でぜひ流す
 ようにと教会員あてに「召天説教」の
 録音テープを残していました。「信徒
 のみならず、すべての人もこれくら
 いの心備えが必要。これで十年生き
 るか、明日召されるかもわからない」
 とテープと一緒にメモが残っていま
 した。「天国からの説教」は十六日、
 教会での「告別式」で流されました。
 テープは約三十分。先生が好んで
 歌っていた聖歌「立ち上がれいざ」が
 まず飛び出す。
 先生は一九六九年三月、心臓を悪
 くしていた時、このテープを吹き込
 んでいた。また告別式用のカラー写
 真も準備してあり「黒い額なんぞに

【本日の礼拝奉仕者】
 ■第1礼拝
 礼拝祈禱 司会者
 聖書朗読 司会者
 献金1階 司会者
 献金祈禱 司会者
 報告 荻野牧師
 受付
 配信 チーム

■第2礼拝
 礼拝祈禱
 聖書朗読
 献金1階
 1階
 2階
 献金祈禱 司会者
 報告 司会者
 会場 司会者
 受付 司会者



入れないように。天の御国に行くの
 だから金色の額にしてくれ」と言い
 渡していました。
 「かつてはいい加減な生活だった私
 の二十数年。この罪の生活からイエ
 ス様は私を見出して「友」と呼んで
 くださったのです。どうか皆さんも、
 このいつくしみ深い、イエス様の愛
 を知ってください。(中略)
 皆さん、私は今日、このメッセージ
 を顔と顔を合わせて語ることはで
 きません。私は地上をこの通り去っ
 て天国にいます。私の肉体は、もうす
 ぐ火葬に処せられるでしょう。しか
 し、皆さんもいつ同じ境遇に出会
 うか分かりません。へブル書に「ひとた
 び死ぬこと、死にてのち、さばきを受
 けること人に定まれり」とある通り
 です。このおごそかな事実を、私たち
 は人々にも伝えなければなりません。
 」(まだまだ続きますが以下略)

今、季節は復活節からペンテコス
 テへ向かっています。創立者の召天
 記念日あたり、私たちも主に仕え、
 福音を証する生涯を託されているこ
 とを覚えましょう。